

2004年3月1日

中期経営計画（2004～06年度）を策定  
「真のグローバル・ケミカルカンパニーを目指して」

住友化学はこのほど、2004～06年度の中期経営計画を策定しました。住友化学は本中期経営計画を、住友化学グループが21世紀においてめざす姿である「あらゆる面で強靱な、真のグローバル・ケミカルカンパニー」に発展していくにあたっての重要なマイルストーンとして位置づけています。

（住友化学グループが21世紀においてめざす姿）

1. 世界市場において競争力ある事業を展開する会社
2. 蓄積した技術を基盤に、高付加価値・高収益事業を核として成長を続ける会社
3. グローバルスタンダードに則った経営を進め、株主価値を重視し、社員が生きがいを感じる会社

住友化学は本中期経営計画に先立ち、10年後の達成を目標とする新たな事業ポートフォリオを設定し、その途上で最低限到達すべき目標として、2010年での連結純利益1000億円を掲げました。その目標達成の第一ステップである本中期経営計画は、次の基本方針で取り組んでまいります。

（本中期経営計画の基本方針と取り組み）

1. **高収益体質の早期実現**

< 選択と集中の徹底 >

医薬を中心としたライフサイエンスおよび情報電子分野への集中投資により、目標への布石を確実に打っていきます。

< 高付加価値品へのシフト >

ポリオレフィンなどの高付加価値化、農薬や情報電子分野での川下展開、ソリューションビジネスの強化により、収益性を改善します。

< グローバル化の推進 >

海外拠点を充実させ、なかでも成長速度の著しいアジア市場での事業拡大を加速させます。

2. **財務健全化の推進**

高収益体質の構築と財務健全性の維持を両立させます。

3. **業務革新の徹底**

4. **グローバル連結経営の充実**

5. **CSR（企業の社会的責任）の推進**

(業績目標)

(億円)

	2003年度 (見込み)	2006年度 目標	2010年 (長期目標)
連結売上高	11,600	13,300	-
連結営業利益	680	1,200	-
連結純利益	330	650	1,000
株主資本比率	32%	35%	約40%
D/Eレシオ	1.1	1.0	0.8

本中期経営計画の業績目標は、最終年度の2006年度において、連結売上高1兆3,300億円、連結営業利益1,200億円、連結純利益650億円と設定しました。株主資本比率は35%、デット・エクイティ・レシオについても1.0倍を下回る水準を目標としています。

住友化学は、本中期経営計画を迅速かつ着実に実行することで、安定した高収益成長を実現することができ、それが企業価値の最大化につながるものと確信しています。住友化学グループは本中期経営計画の目標達成により、「真のグローバル・ケミカルカンパニー」の実現に向けて確実に前進してまいります。

以上